大阪スマートシティ戦略バージョン2.0案の概要版

大阪府、大阪市では、「豊かで利便性の高い都市生活」を未来像とする副首都の実現と、「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマとする大阪・関西万博を成功に導くことなどをめざし、「住民のQoL向上」を一番の目標に掲げた、『スマートシティ戦略バージョン1.0』を2020年3月に策定しました。

今回、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う、生活様式の変化や、国のデジタル政策の強化等、同戦略策定後におけるスマートシティを取り巻く環境の変化を踏まえ、これまで進めてきた取組みを土台に、「未来社会の実験場」となる大阪・関西万博に向け、イノベーションを加速させていくため、「大阪スマートシティ戦略バージョン2.0」を策定します。

戦略バージョン1.0の理念は

住民が実感できるかたちで、「住民の生活の質（いわゆるQoL）の向上」をめざすことが主な目的であり、「技術実験」に留まらず、「社会実装」のための取組を蓄積していくことにあります。また、公民連携による民間との協業が大前提となっています。

これらに加え、新たに戦略バージョン2.0に追加する理念として、次の点をあげています。

１、新型コロナ感染症に伴う生活様式の変化に対しては、コロナかを踏まえた「デジタル化による都市免疫りょくの強化」を図ること。

２、国による強力なデジタル改革の推進により、デジタル原則を踏まえた「国のデジタル政策を先導する取組み」を行うこと。

３、社会課題・地域課題の解決がビジネスマーケットとして急速に拡大していることから、公民連携による民間との協業をリニューアルし、「公民共同エコシステムの構築」を行うこと。

府市の役割としては、

大阪府は、パートナーズフォーラムや、データ連携基盤などのインフラ構築と、市町村DX支援などにより、府域のDXを推進します。大阪市は、大阪府と連携した先導役として、府内市町村の行政DX推進をリードします。

以上。以下余白。